

平成31年 2月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成31年 2月 4日 (月) 午後 4時15分～午後 5時45分まで
場 所	青葉区役所 4階402・403会議室
出席者	<p>【議 長】 小島健一議員</p> <p>【議員：8名】 青木マキ議員、赤野たかし議員、内田みほこ議員、大貫憲夫議員、行田朝仁議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：44名】(青葉区：31名、都市整備局：2名、道路局：3名、交通局：1名) 小出重佳区長、岡田勇輔副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、近野真一福祉保健センター担当部長、上田祐一郎青葉土木事務所長、佐藤都市整備局都市交通部長、橋本交通局工務部長、樽川道路局河川部河川計画課長 ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>(1) 平成31年度青葉区内における主な局予算事業について (資料1・区政推進課)</p> <p>(2) 高速鉄道3号線の延伸(あざみ野～新百合ヶ丘)の事業化判断について (資料2・都市整備局都市交通課、交通局建設改良課)</p> <p>(3) 雨水調整池の貸付について (資料3・道路局河川計画課)</p>
報告事項 (1) 平成31年度青葉区内における主な局予算事業について	
発 言 の 要 旨	<p>横山議員 都市計画道路に関して、平成28年度に早期整備路線が道路局から発表され、区内では恩田元石川線が該当し、32年度までに事業化することが決まっている。</p> <p>しかし、今年予算研究会等で道路局長が、早期整備路線の見直しも検討したいと言いだした。これはとんでもない話で、市民との約束なのだから、しっかりと責任を持って守ってもらわないといけない。</p> <p>恩田元石川線の整備は32年度に実施するという意気込みで青葉区全体がまとまらなないと、後回しにされる恐れがある。</p> <p>区長の決意のほどを伺いたい。</p> <p>小出区長 青葉区としても、恩田元石川線の整備は32年度には事業化へ進むものと認識しており、所管局へ改めてしっかりと話をしていきたい。</p> <p>横山議員 横浜環状北西線の整備について、整備後は市が尾駅が非常に肝になってくると思っている。</p> <p>場合によっては、信号に1回もかからずに高速道路に乗り入れることができる。区内では、たまプラーザ駅から空港路線が発着しているが、市が尾駅から行けばより早く、より一層利便性が増してくる。</p> <p>したがって、市が尾の活用を考えてもらいたいと、青葉区としてバス</p>

	<p>事業者に言うべきだと思うが、どうか。</p> <p>吉田区政推進課担当課長 現在、東急バス、京急バス、臨港バスの3社の空港バスが、たまプラーザ駅から発着している。このうち東急バスに対して、横浜環状北西線完成後は市が尾駅からの発着も考えてほしいと、道路局とともに働きかけをしている。</p> <p>しかし、東急バスからは、市が尾駅が急行停車駅でないこと、また、空港バスの需要が新たに増えるのかといった懸念があると聞いている。</p> <p>なかなか難しい問題ではあるが、引き続き働きかけていきたい。</p> <p>横山議員 東急バスの言うことも分かるが、それなら横浜市営バスはどうか。</p> <p>空港バス路線は空港側の受入体制がないとできない。東急が難しければ市バスは京急と組まなければという話になるかもしれないが、そもそも空港バス路線というのは、それほど乗客が乗らなくても採算が取れる。しかも、市が尾発着になれば、たまプラーザ発着よりもはるかに短い時間で空港まで到達できるため、早く行きたい人は絶対に市が尾から乗ると思う。そこに商機を見出さないような市営バスではしようがないと思っている。</p> <p>市が尾発着の空港バス路線は収益が上がるということ、青葉区から交通局に対して積極的にデータで示し、場合によっては今度の区民意識調査の中に「市が尾から空港バスが出たら乗りますか」という質問を入れてもいいのではないかとと思うが、どうか。</p> <p>小出区長 青葉区民は、国内はもとより海外への移動も非常に活発であり、空港へのアクセス向上に対する区民の期待は大きいと考えるので、そうした点も含めて交通局に話をしてみたい。</p> <p>横山議員 高速鉄道3号線の延伸が事業化決定されて、今後の区内の交通に関する大きなテーマとしては、こどもの国線が挙がってくる。</p> <p>こどもの国線は、今はこどもの国止まりだが、鉄道というものはターミナルからターミナルまでつなげることで効果が生まれるわけで、そうした意味では、こどもの国線を小田急線に接続するのは理にかなった話だと思う。</p> <p>ただ、鉄道建設までには長い時間がかかり、また、厳しいハードルもいくつもある。そこで青葉区として、例えばこどもの国から鶴川までのバス路線を考え、その需要があるようなら鉄道を考えていく等、段階を踏んで、こどもの国から鶴川あるいは玉川学園前へのアクセスを考えていただきたいと思うが、どうか。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小出区長	<p>奈良地区にお住まいの方にとって、交通というのは本当に大事な部分であり、小田急線へのアクセスという部分も大切であると思う。</p> <p>道路局の地域交通の事業の中で、検討や調査を行ったことがあるが、地域の方のご要望を受けとめながら、改めて道路局と一緒に考えてまいりたい。</p>
赤野議員	<p>教育予算に関して、区内でもフリースクールがいろいろな形で運営されている。本当に少ない予算でボランティアの方数人でやっているようなところを始めさまざまな形があると思うが、そういったところに対する横浜市の支援はあるのか。</p>
佐々井学校連携・こども担当課長	<p>教育委員会でフリースクールに対する支援がどのように運用されているのか、確認しておきたい。</p>
赤野議員	<p>さまざまな理由で学校に通えない子ども達がいるとの話を聞いている。</p> <p>従来と違い、学校側もその事情を認めて、そのような子どもにはフリースクールに通っていただき、学校とフリースクールが連携する取組をしているという話も聞く。状況を確認して教えていただきたい。</p> <p>もう一つ、青葉区には6大学があるが、例えば日体大の学生さんに区内の学校の部活動指導員の補助などをご協力いただくといった、今問題になっている教職員の部活動指導のサポートなどについて、考えがあればお聞かせいただきたい。</p>
小出区長	<p>青葉区には日体大を始め、非常にスポーツが盛んな大学があり、区でもそのような大学と、ウォーキング事業や防災関係等で連携させていただいていることは非常に多い。</p> <p>学校における教職員のサポートについては、個々に小中学校と大学で行っている部分もあると思うが、児童生徒の教育環境づくりにプラスになることでもあり、区でも連携の状況を確認していきたい。</p>
行田議員	<p>今、青葉区内の小学校で、障害のあるお子さんが通う特別支援教室がかなり過大な規模になっていて、例えば授業中に離席するお子さんの指導にまで手が回らず、地域療育センターの先生に応援を求めている状況があると聞いている。</p> <p>小学校としては、せめて月1回は療育センターの先生に話を聞きに行くとか、現場の状況を見てもらいたいという声があるようだが、区とし</p>

	てこうした課題があることは認識しているか。
佐々井学校連携・こども担当課長	個々の児童・生徒にどういった支援が必要とされているかということは把握しているが、学級全体の運営状況については確認できていない。
行田議員	<p>実際に療育センターの先生が学校に行っていただく回数を増やすといったことをやっていかなくてはいけない。</p> <p>来年度の予算を見ると今年度とそれほど変わらないようだが、こうした状況があるということを押さえていただきたい。</p>
大貫議員	多文化共生推進事業で「国際交流ラウンジにコーディネーターを配置します」とあるが、具体的な内容を教えてほしい。
鈴木地域振興課長	国際局の多文化共生推進事業の予算については、予算の中でコーディネーターの配置に使えるということになっている。
大貫議員	コーディネーターは非常に必要である。予算の使途を区で考えるというのであれば、区でコーディネーターを配置することが必要だと思うが、どうか。
鈴木地域振興課長	国際交流ラウンジの委託事業者と調整しながら、どのようなことができるか考えていきたい。
大貫議員	4ページの特定天井の脱落対策について、青葉区は対象施設が結構多かったと記憶しているが、今回の対策によって、青葉区では心配がなくなるのか。
川合総務課長	<p>特定天井の脱落対策事業計画を市で策定している。その中で青葉区内の施設としては、区庁舎の区民ホール、青葉公会堂、スポーツセンター、区民文化センターフィリアホール、それから地区センターが4か所の合計8か所ある。</p> <p>このうち区庁舎や公会堂、奈良地区センター、スポーツセンターの対策について、今回予算に計上されている。</p> <p>対策にかかる標準期間は、調査・基本設計、実施設計、工事で3年となっており、順次進めている。</p>
大貫議員	8ページの児童虐待への対応強化について、この間も小学4年生の子

	<p>が虐待される事件があり、児童相談所と関係機関の連携に非常に問題があったと報じられている。</p> <p>この事件を受けて、青葉区として具体的にどのような対策を考えているのか聞きたい。</p> <p>樋田こども家庭支援課長 まず、区の体制の強化として、青葉区では31年度から虐待対応調整チームの担当係長を1名増員する。また、子育て世代包括支援センター事業の開始に合わせ、母子保健コーディネーターとして看護職の嘱託員を3名増員し、連携体制を強化する。</p> <p>青葉区の場合は住民の転出入が多いため、児童相談所や警察との連携に加えて、他都市との連携には特に気をつけて取り組んでいきたい。</p> <p>さらに、地域での見守りの強化、虐待の早期把握に向けて、区役所や児童相談所等への通報に関して、区民への啓発も強化していきたい。</p> <p>大貫議員 千葉の事件では、転入前の自治体で把握していた情報が転入後の自治体へきちんと伝わっていなかったということがあった。他都市との連携についてはしっかりとやっていただきたい。</p> <p>また、実際にお隣の家の子どもの様子が気になった時にどうしたらいいかわからないという場合がある。異変を感じた場合はこうしてください、という住民に対する啓発はぜひやってほしい。</p> <p>また、児童虐待ではないが、この間も私のところにいじめの問題で相談があった。</p> <p>青葉区では学校のいじめの問題というのはどこかできちんとつかんでいるのか。また、どのような形で解決したのかというデータを持っているのか。</p> <p>佐々井学校連携・こども担当課長 いじめに関して、重大事案については教育委員会で記者発表をするが、それ以外の事例の詳細については、区ではデータを持っていない。</p> <p>大貫議員 地域に関わることなので、区としても教育委員会に対して情報提供を求めるようお願いしたい。</p> <p>大貫議員 15ページの5の民間ブロック塀等の改善に関して、現状調査をしたのか、特にスクールゾーン内のブロック塀はどうなっているのか心配している。</p> <p>対象となるブロック塀が区内にどのくらいあるのか、また、個人所有の場合は所有者がやる気にならないと改修できないわけだが、その辺を</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>どうするのか聞きたい。</p> <p>佐々井学校連携・こども担当課長 対処状況について教育委員会から情報は得ているが、区の学校連携として現時点では直接の対応はしていない。</p> <p>大貫議員 子どもの命に関わる問題なので、教育委員会任せではなく、区としても連携を取って早く解決するよう要望しておく。</p> <p>小出区長 大阪での昨年の悲しい事故を受け、本市でも建築局、教育委員会が地域の方のご協力をいただきながら対策に取り組んでいる。</p> <p>区としても建築局や教育委員会から対処状況の情報を得る中で、地域の皆様にご協力をいただいた調査であるということも踏まえているところだが、その後の進捗状況について具体的な情報をつかみ切れていない部分がある。</p> <p>改めて関係局と情報を共有してまいりたい。</p>
<p>報告事項（２） 高速鉄道３号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）の事業化判断について</p>	
<p>発言の要旨</p>	<p>横山議員 利用者の立場からすると、一刻も早く供用を開始してもらいたいという思いが強い路線だし、この発表の後、多くの区民の方から「ようやく事業化か」という声もいただいている。</p> <p>ただ、川崎市域に３つのルート案が出てきたということが少し気になる。その中で東側ルートが一番いいと言っているのであれば、なぜ東側ルートに絞り切れなかったのか。</p> <p>佐藤都市整備局長 川崎市側の３ルートについては、地域から川崎市議会へ請願が出るなど、整理しなければいけない課題があると聞いている。</p> <p>ただ、私どもとしては、行政としてどのルートが有力であるかということについてはその考え方を示したうえでの公表がよいと考え、今回、東側ルートをより整備効果の高い案としてお示しした。</p> <p>横山議員 東側ルートでヨネッティー王禅寺付近に駅ができたほうが美しが丘西の地域の方にも利便性があり、青葉区民の立場からすると東側ルートにしてもらいたいと思うわけだが、他の地域から請願が出ている中で、本当に１年でまとまるのか。</p> <p>川崎方にも早期実現へ期成同盟ができたということなので、ぜひ横浜市からも早くルートを選定するよう働きかけていただきたい。</p>

報告事項（3）雨水調整池の貸付について	
発言の 要旨	赤野議員 地域の方にはどの程度説明されているのか。
	樽川道路局河 川計画課長 連合町内会の会長や単位町内会の会長等、主だった役員の方には事前にお話をさせていただいている。 貸付事業者を公募する前に再度、町内会の皆様にご説明する場を設けることを考えている。
	赤野議員 私もこの自治会の住人の一人だが、ここはすぐ裏に保木の山もあり、珍しい野鳥が来るという話も結構聞く。 頭ごなしになるようなことなく、いろいろな意見に耳を傾けながら慎重に進めていただきたい。
	大貫議員 意見を言えというのであれば、これはやってはだめ。 貸付の目的は、そこに土地をつくって、高く貸していきたいということだろう。しかしこれからの横浜は、緑を大事にする、環境を大事にするというのがコンセプトであり、環境を守っていく、特にオープンスペースというのは、街では非常に重要になっている。 ここは青葉区でビオトープをきちんと成功させている例でもある。 財源確保を理由に、土地があるからといって貸してはいけない。 私は貸付には反対である。
	樽川道路局河 川計画課長 雨水調整池の本来の一義的な目的は、川が溢れないように雨水を貯めることであり、治水機能が第一の機能である。 この場所についても当然、その治水機能を確保するというのが第一優先となる。 ビオトープについては、6千平方メートルという非常に広大な面積の中に少しでも残せないかということも検討している。 ビオトープをきれいにして治水機能を完全に確保するのがいいのか、あるいはビオトープも部分的に残した上で使うのがいいのかということについては、地域の方々のご意見も伺いながら、貸付の条件に盛り込みたいと考えている。
山下議員 この話は我々も聞いており、地元の町内会長からもお話を聞いている。 地元としては結構前向きに捉えられているように思うが、貸付に向けて整備する場合、人工地盤の下は人が出入りできるようになるのか、それとも水を貯めないといけないから、人や動物は入れないようにするの	

	か。
樽川道路局河川計画課長	具体的にはこれから決めることになるが、安全対策上、基本的には出入りはできないようにすることを想定している。
山下議員	<p>事故が起こらないようにということを、まず第一に考えていただきたい。</p> <p>ビオトープに関しては、私は市会の予算・決算特別委員会で話をした記憶があるが、ひどい状態のものが青葉区にもたくさんある。</p> <p>机が捨てられていたりバイクや自転車が捨てられていたり、あそこのごみ溜めを何とかしてほしいという陳情を結構受ける。</p> <p>本来のビオトープというのは、自然の水が流れて、自然の池ができて、そこに自然の植物や虫などが来て、という循環するようなものをつくるというもの。</p> <p>ところが、ここは環境省等の国の予算を引っ張ってきて、無理やりコンクリートを割って作ったような面もあり、そうした無理のある所は見直しをしていく必要がある。</p> <p>みどり税をいただいている中で、緑を大事にするのは言うまでもないことだが、そのことと、自然のままにほったらかしにするのがビオトープかということは、きちんと分けて考えないといけない。</p> <p>私は貸付に賛成である。</p>
横山議員	説明資料にビオトープという言葉は出てこないが、ここはそもそもビオトープなのか。
樽川道路局河川計画課長	<p>そもそもは地域の開発に合わせて作った池だが、その後、ビオトープとして整備した経緯がある。</p> <p>私どもは当然ビオトープとして認識しているが、地域の方にお話を聞くときあまり認識されていない現状がある。</p>
横山議員	<p>貸付面積について、6千平方メートルを全部使うとなると結構大規模になり出店も限られてくる。</p> <p>ビオトープならビオトープも生かす、上部利用も生かす、といういいとこどりのような発想があってもいいと思うが、6千平方メートルを貸し付けるのか。</p>
樽川道路局河川計画課長	基本的には6千平方メートルを貸し付ける予定だが、人工地盤の整備は事業者の負担で行うこととしており、地盤を張れば張っただけ費用が

	かさむこともある。したがって、事業採算性が合うところまで地盤を整備していただけるようにすることも考えている。
--	--------------------------------------------------------